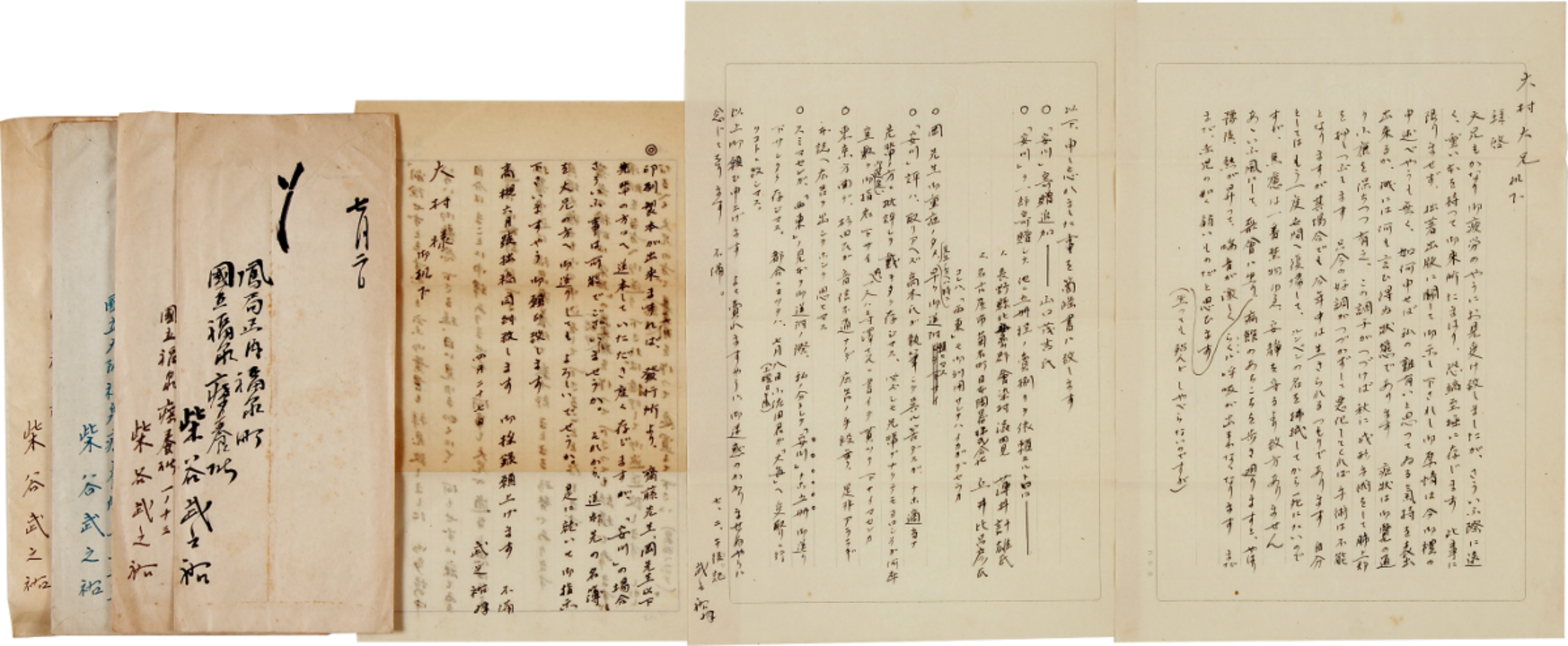

大村大兄
　机下

拝啓

大兄もかなり御疲労のやうにお見受け致しましたが、さういふ際に遠く、重い荷を持つて御来所にまはり、恐縮至極に存じます　此事に限りませず、拙著出版に関して御示し下されし御厚情は今御禮の申述べやうも無く、如何申せば私の難有いと思つてゐる気持を表出来るか、或いは何も言ひ得ぬ状態であります　症状は御覧の通り小康を保ちつつ有之、この調子がつづけば秋に成形手術をして肺上部を押しつぶします　只今の好調がつゞかずして悪化してくれば手術は不能となりますが其場合でも今年中は生きられるつもりであります　自分としてはもう一度世間へ復帰して、ルンペンの名を払拭してから死にたいのですが、反應は一番禁物ゆえ、安静を守るより致方ありません　あゝいふ風にして、歌會に出て、病躯のあちこちを歩き廻りますと、やはり障候、熱が昇つて、喘音が激しく、らくに呼吸が出来なくなります　まだ、永晃の如く頑いものだと思ひます（生つても　病人としやべらないのですが）

以下申し忘れた事を箇條書に致します

○「安川」寄贈追加 ―― 山口茂吉氏

○「安川」ヲ、既寄贈シタ他ニ五冊程、貴樹ヨリ依頼サルヽ旨 ――

1. 長野県北安曇郡会染村滝田見　薄井計雄氏
2. 名古屋市菊水町日本陶器株式会社　立井比呂彦氏

○岡先生御重症ノタメ（差支ヘナケレバ）早ク御進呈~~[illegible]~~

コレハ「西東」モ御利用ナサルハイカガデセウカ

○「安川」評ハ、取リアヘズ高木氏ガ執筆ニテ寄セル筈デスガ、ナホ適當ナ先輩ノ方ニ（御選定）批評シテ戴キタク存ジマス、出来レバ先輩デナクテモヨロシイガ何卒至急ノ御指名下サイ　人ハ手繰リテ書イテ貰ッテ下サイマセンカ

○東京方面デ、好田氏ガ音信不通ナノデ広告ノ手続ヲ、是非アララギ雑誌ヘ広告ヲ出シテホシイト思ヒマス

○スミマセンガ、「西東」ノ見本ヲ御送附ノ際、私ノ分トシテ「安川」ヲナホ五冊御送リ下サレタク存ジマス。都合ニヨッテハ、七月八日（土曜日夜）小池田君ガ「大阪」ヘ来訪ノ時ワタトニ致シマス。

以上御頼み申上げます　よく賣れますやうに御進献のお祈りをせずにゐられないと念じてをります　不備。

七、六、午後記

武之祐拝

◎

印刷製本が出来ますれば、發行所より、齋藤先生、岡先生以下先輩の方々へ進本していただき度く存じますが、「安川」の場合さういふ事は何如でございませうか。それから、進献先の名簿を大兄の方へ御送附してもよろしいでせうか。是は就いて御指示下さいますやう御願ひ致します

高樹六月號拙稿同封致します　御校閲頼上げます

六月十七日

不備

武之祐拝

大村様
　御机下

七月六

鳳西五丙　福泉町
國立福泉療養所
柴谷武之祐

國立福泉療養所　一ノ十三
柴谷武之祐

國立大阪福泉療養所
柴谷武之祐

柴谷武之祐